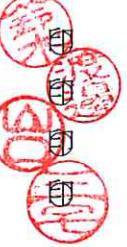


平成30年 6月17日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 赤塚 幸一郎 様

代表者 鈴木 照一
記録者 渡辺 博司
班 員 山口 桂子
" 三宅 和広



議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	平成30年5月22日（火）19時00分～20時30分	
2 会 場	市立千布公民館	
3 欠 席 議 員	1名（後藤和信議員）	
4 参 加 者 数	20名（男性17人、女性3人）	
5 報 告 内 容	平成29年度の議会活動状況と定例会・臨時会での論点など	
6 意見交換の内容 (議会・議員及び市政に対する意見、提言、要望と空家対策に関する意見)	出された意見等 市民 モンテディオ山形市民応援デーに1万人を目標に活動をしてきたが、8,801人の入場者数であった。市議会議員の活動内容を踏まえた上で、入場者数が足りなかつた原因は何か。 (1)	当日の回答 議員 地元の小学生、PTA、モンテ応援隊、各スポーツ少年団などに声掛けをしたが、目標に届かなかつたのは残念である。当日の天候の影響もあったのかもしれない。 各地区の公民館やモンテ応援隊の人たちが一丸となって、活動した結果、今シーズン最多の入場者を動員することができたと思う。 行政でもまだ総括されていないので、達成できなかつた原因を探ることを執行部に伝えた。

	<p>市民</p> <p>10月の二千局盤来事業は目標達成に向けて声掛けだけではなく、責任をもって各公民館単位でも関わっていくことも大事である。(2)</p>	<p>議員</p> <p>執行部に伝えたい。</p>
	<p>市民</p> <p>市スポーツ振興議員連盟に11人の議員だけが参加しているとのことだが、それでは動員するにも熱が入らないのは。(3)</p>	<p>議員</p> <p>参加していない議員でも、モンテの応援や、男子・女子天童東村山駅伝チームの応援、野球の楽天、バスケのパストラボ山形の応援をしている。なお、もっとスポーツ振興議員連盟に参加するように呼び掛けていく。</p>
	<p>市民</p> <p>天童のロゴマークの件であるが、いつからロゴマークが変更したのか。</p> <p>前のロゴマークは使えないのか。教えていただきたい。(4)</p>	<p>議員</p> <p>ロゴマークの変更時期であるが、今はわからない。新しいロゴマークは東北芸工大の先生にデザインいただいたマスコット的存在である。</p> <p>前のマークは市の旗で使われている。詳しいことを行政から説明していただくように伝えたい。</p>
	<p>市民</p> <p>介護認定世帯だけでなく、障がい者・高齢者世帯にも間口除雪サービスを実施してほしい。</p> <p>また、寒河江市方式を取り入れながら、市道だけでなく、県道に面した道路の除雪を実施してほしい。(5)</p>	<p>議員</p> <p>間口除雪に関しては平成29年度から取り組んでいる。指摘された内容について、市民に回答を示すよう行政に伝えたい。</p>

	<p>市民 行政視察を行って実現したことは。(6)</p>	<p>議員 参考事例を一般質問に生かせることができる。その結果、前向きに検討いただく答弁が増えている。アイディアとして考え方の参考にもなり、会派で要望する事項にも取り入れができる。よって無駄ではない。</p>
	<p>市民 市のＩＣＴ推進は市独自に行うのか。また、ソフト面の統合は。(7)</p>	<p>議員 市で進めるＩＣＴ推進の取り組みとして、議会と行政活動にタブレットを導入しデータの利活用を検討している。タブレットで資料を確認するため、印刷代がかかる紙資料の経費削減につながる。米沢市、寒河江市でもタブレットを導入している。将来は近隣自治体とデータ連携ができるようになれば良い。行政に伝えたい。</p>
	<p>市民 第七次総合計画の中で議員が力を入れていく点、また、見直しを行う点はあるのか。男女共同参画の実態をとらえているのか。(8)</p>	<p>議員 学校トイレの洋式化に力を入れていく。 障がい者に優しい条例をもつと取り入れていく必要がある。 一つ一つ計画にそって取り組んでいく。 市民の声があれば、行政に届けていく。 男女共同参画の女性進出の環境づくりに力を入れていく。 男女共同参画推進会議でも様々な活動を行っているが、今まで以上に力を入れていく。 人口減少の傾向推移を見ながら</p>

		<p>ら、市民サービスの向上に努めしていく。</p> <p>まちづくり懇談会への参加を通じて、意見交換をしながら、各種行政活動を検討していく。</p>
市民 身体障がい者に対する問題点を市で考えているのか。(9)	議員 特別支援学校の中學部・高等部の開設を市に要望している。また、学校を卒業した障がい者が入所できるように作業所及びグループホームの増設を市に要望している。	
市民 市報に空き家の件数が掲載されていたが、千布地区は想定していた件数の倍の40件であった。(10)	議員 千布地区は平成24年度は19件、平成29年度は40件になっている。市では空き家バンクの登録制度を進めており、補助事業を実施している。	
市民 いつ崩壊してもおかしくない状態の空き家があり、その家主は施設に入っている。後継者もおらず、どうすればよいか。(11)	議員 そこが今回の空き家対策の足りない点である。危険家屋への対応は、空き家対策計画の範囲外である。行政に相談して、早急な対応を行うように働きかける。	
市民 空き家対策の内容を見ると、建物に価値が高い所ばかりである。建物の価値が低い地区は、空き家対策に該当しないのでは。(12)	議員 確認の上、検討していくよう行政に伝えたい。	
市民	議員	

	<p>仮壇をはじめ荷物がたくさん入っている建物は、荷物を片づけないと空き家バンクに登録できないのが現状である。空き家が増える原因として、市街化調整区域の開発の規制による影響が大きい。地元を離れる若者も多い。規制緩和が必要なのでは。(13)</p>	<p>既に規制が緩和されつつある。</p> <p>空き家を増やさない対策はもちろんあるが、危険な空き家を解消するための施策を行政でも急ぎ検討していると思う。意見を行政に伝えたい。</p>
7 所 感	<p>モンテディオの応援から空き家対策など各種様々な質問があり、活発な意見交換会となった。中でも空き家対策及び間口除雪など、高齢化が進む地区特有の課題があり、他地区でも同様の課題を抱えている可能性がある。地区ではなく、市全体の課題として、行政とともに改善策を検討していきたい。</p>	